

プログラム

開会の挨拶 10:00-10:05

日本薬史学会 2021 年会長 松崎桂一

会長挨拶 10:05-10:10

日本薬史学会会長 森本和滋

基調講演 10:10-11:10

座長 松崎桂一(日本大学薬学部)

COVID-19 が、日本薬史学会に教えてくれていること

森本和滋 日本薬史学会 会長

表彰式 11:10-11:30

昼休み・休憩 11:30-13:00

理事・評議員会 11:30-13:00

一般口頭発表 13:00-14:00

座長 石毛久美子(日本大学薬学部)

宮崎生子(昭和薬科大学)

O-1 創薬の基礎としての有機合成化学：有機フッ素化学の近年の
進歩

○桐原正之

(静岡理工科大学理工)

O-2 戦後薬事法における広告規制について

○齋藤充生^{1,2}, 林讓¹

(¹ヘルスヴィジランス研究会, ²日本医薬情報センター)

○-3 第十八改正日本薬局方（JP18）と JP の国際活動について

○ 但野 恭一

（株式会社 ニューリンクジャパン）

○-4 Dr. Joseph A. Oddis が日本の薬剤師に与えた影響と寄与

○ 西谷 篤彦

（日本薬史学会）

休憩 14:00-14:10

一般口頭発表 14:10-15:10

座長 桐原正之（静岡理工科大学理工）

齋藤充生（ヘルスヴィジランス研究会，

日本医薬情報センター）

○-5 バイオシミラーの品質評価技術の進歩と国内外における規制
動向

○ 森本和滋，日向昌司，石井明子

（国立医薬品食品衛生研究所・生物薬品部）

○-6 INN の決定動向からみた抗体医薬品に関する本邦における副
作用被害給付状況

○ 宮崎生子，齋藤理枝子，平木舞，金田翔也

（昭和薬科大 社会薬学研究室）

○-7 “志村権左衛門—山梨県明治 40 年大水害での災害医療活動と
その背景—”

○ 五位野政彦

（東京海道病院 薬剤科）

O-8 佐渡におけるホソバオケラの歴史的背景とその現況

○西原正和，植松猛

(奈良県薬事研究センター)

休憩 15:10-15:20

一般口頭発表 15:20-15:50

座長 船山信次 (日本薬科大学)

O-9 当時の記録から振り返る小川胃病丸

○石毛久美子¹，小川裕好²，小川惟弘³，松崎桂一¹

(¹日本大学薬学部，²オガワ薬局，³日本医科大学属病院薬剤)

O-10 日本大学と植物園と木村雄四郎先生 本学に残る史料から

○松崎桂一，矢作忠弘，小村健太郎

(日本大学薬学部)

次年度年会長挨拶 15:50-16:00

日本薬史学会 2022 年会長 江戸清人

閉会の挨拶 16:00-16:05

日本薬史学会 2021 年会事務局長 矢作忠弘